

2023年8月14日

各 位

会 社 名 リネットジャパングループ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 グループ CEO 黒田 武志
 (コード番号：3556 東証グロース)
 問 合 せ 先 常務執行役員グループ CFO 管理本部長 岩切 邦雄
 (TEL 052-589-2292)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年8月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年11月11日の2022年9月期決算発表時に開示した2023年9月期（2022年10月1日～2023年9月30日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり年間配当予想0円の変更は予定しておりません。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年10月1日～2023年9月30日）

	連結営業収益	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,500	百万円 600	百万円 600	百万円 380	円 銭 30.91
今回修正予想 (B)	10,700	10	10	△200	△15.92
増減額 (B-A)	200	△590	△590	△580	△45.01
増減率 (%)	1.9%	1.7%	1.7%	-	-
(参考) 前記連結実績 (2022年9月期)	8,587	500	842	500	40.76

2. 修正の理由

本日公表の第3四半期連結決算、および今後の連結業績見通しをふまえ、前回発表予想（2022年11月11日公表）に対し、想定を下回る見通しにあることから、業績予想を下方修正いたします。

当第3四半期連結累計期間における業績は、国内Re事業に加えて2023年4月1日付にて買収を行いました株式会社アニスピホールディングス（アニスピ社）の寄与により、営業収益は過去最高の実績となりました。一方で、昨年秋のカンボジアにおける大規模水害や中華圏での新型コロナウイルス感染症の再拡大等によるカンボジア経済悪化や政権移譲を伴う総選挙実施による一部行政の停滞を受け、マイクロファイナンス事業の信用コストが急増（予防的引当金拡大）したことに加え、国内ではポストコロナに伴う巣ごもり需要の反動減による中古再販価格の下落、アニスピ社買収も含めて経営体制整備への人的投資とパート・アルバイト等の不足による人件費増等により、営業利益以下は減益、計画未達となりました。

（当第3四半期連結決算の詳細は、本日開示の「2023年9月期第3四半期決算短信」「2023年9月期 第3四半期 決算補足資料」をご参照下さい。）

第4四半期に入りましても引き続き、マイクロファイナンスを始めとするカンボジア事業について大幅な改善が見られないことから、当期の連結業績における見通しを引き下げ、業績予想を修正することにいたしました。又、マイクロファイナンス事業においては水害関連の引当金100百万円を連結決算において貸倒損失として特別損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は△200百万円の予想と致しました。

通期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想につきましては、2023年6月29日に発表致しましたCHAMROEUN MICROFINANCE, PLCの株式譲渡に関する当該譲渡益の特別利益への計上を含んでおりません。当該譲渡完了について、その条件となるカンボジア当局申請と承認時期が合理的に見通せないことから、譲渡完了時に改めて計上を行います。

(尚、株式譲渡における譲渡益の見通しについては、2023年6月29日譲渡契約発表時に150百万円程度を試算し開示しておりましたが、爾後の同社の期間損失に伴う連結簿価の低減、円安による為替調整差額の拡大により、契約済譲渡価格との差が拡大し、本第3四半期決算時点では300百万円程度の譲渡益を試算しております。)

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な資料を基に作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上